

# 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の

ほう ちゅう かん



あん ちゅう めい

## “忙中閑あり暗中明あり”

その 25

わくらば  
～ 病葉～

夏、青葉に混じって、赤や黄色に変色した葉を見かけることがあります。これは虫がついたり、病気によるもので「病葉」といいます。

「わくらば」の「わくら」は一説に、別れる意の「わくる」が変化したものといわれています。つまり、枝から別れて落ちる葉という意味です。また、別に、「わ」は若葉の意、「くら」は虫が食らうの意とする説もあります。

私より上の世代の方なら、昔流行った流行歌の中に、こんな歌詞があったのを覚えているでしょうか？

病葉を 今日も浮かべて  
街の谷 川は流れる  
ささやかな 望み破れて  
哀しみに 染まる瞳に  
黄昏の 水のまぶしさ

能代市長 齊藤 滋宣



8月6日、役七夕  
を市役所前で出迎  
えました。